



れんげそう

令和6年2月1日
福生第五小学校
学校通信第558号

新しい・・・

校長 泉田 巧人

1月24日に福生市中央図書館がリニューアルオープンしました。私も20日のリニューアルオープン記念式典に参加させていただき、一足早く館内を見てきました。館内に一歩入ると、明るく多摩産材のヒノキを使った円形書架がおしゃれで目を引かれました。全体的に木を基調としておりとても落ち着いた雰囲気です。読書・学習コーナーやレファレンス室（しらべもの室）等も充実しており、趣味に学習に大いに活用できる居心地のいい空間であると感じました。また、電子書籍貸出サービス「ふっさ電子図書館」も開設され利用しやすくなりました。本を読むことで、「知識が得られる」「想像力が豊かになる」「読解力が育つ」「語彙力が身に付く」「論理的な思考が育つ」「集中力が付く」等、他にもたくさんの良い効果が得られます。これを機に、子どもたちにもたくさん図書館を利用し、様々な本に触れて興味・関心やものの見方を広げ、知識や心を豊かにし、新しい自分を見つけていってほしいと思います。



福生市立中央図書館
(写真:福生市立図書館ホームページより)

さて、2月となり今年度も残すところあと2か月です。2月3日は節分、4日は立春となり、暦の上ではもう春を迎えます。学校や街角の木々は、寒い日が続く中でも暖かい春の開花に向けて、じっくりとエネルギーを蓄えている時期です。子どもたちは、4月から比べると心身共に大きく成長してきています。現在の学年での残りの日々で、一人一人がしっかりと力を身に付けて、新しい学年でも大きな花を咲かせられるよう教職員一丸となって指導していきます。今後とも御理解と御協力をお願いいたします。

2月ふれあい(いじめ防止強化)月間

福生市では1月16日(火)に「いじめ防止サミット」が開催され、福生市内の全ての小・中・高等学校の児童・生徒の代表が集まり、いじめについての討論を行いました。福生市内約3,300人の児童・生徒が参観したのち、自分たちがいじめについて話し合いを行いました。様々な事例で、いじめる人の気持ちを考えたり、いじめられる人の気持ちを考えたりしました。

いじめには、「相手が悪いのだから言われて当然」などと一方的な主張を通し、相手を攻撃して傷つけている自分を正義だと正当化してしまい、自分がやっていることはいじめだと気が付いていないものもあります。自分はいじめと認識していなくてもいじめにつながっていることも多々あります。子どもたちは、様々な事例を通して、自分たちのあるべき言動について真剣に考えていました。

いじめは、重大な人権問題です。本校の教員は、今まででもいじめは絶対に許さないという姿勢でいじめ問題に対して取り組んできました。2月のふれあい月間を活用し、更に意識を高くもち、教員、児童共に人権感覚高めていき、いじめの起こらない環境をつくっていきます。今後も、いじめに関する感覚を養っていくとともに、一人一人を大切に育てていきます。